

☆☆☆

新年度にあたり、去る 5月31日の定時総会において

☆☆☆

☆☆☆

新執行部が誕生いたしました

☆☆☆

会長 輿水 淳



新執行部 18名

(輿水会長 小田副会長 會田副会長 友光副会長
理事12名、 監事2名)



3列目 (新)宇津理事 (新)田村理事 栗原理事 大木理事 杉山理事 (新)鹿取理事
2列目 三浦監事 (新)荒古理事 佐藤理事 天野理事 足立理事 金内理事 (新)近藤監事
前列 友光副会長 小田副会長 輿水会長 會田副会長 佐谷理事

就任挨拶

伊澤前会長をはじめ、理事の熊倉先生、福永先生、安孫子支店長、監事の楠先生には、長年にわたり当会を支えていただき、心から敬意と感謝を申し上げます。皆さまのご支援とご協力がなければ、私たちは今こうして新たな歩みを始めることすら叶いませんでした。本当にありがとうございました。

伊澤執行部を振り返れば、2019年末に突如到来した新型コロナウイルスとの戦いは、国民はもちろんこと、薬剤師会にとっても最大の試練でした。休日・夜間薬局を訪れる患者数が激減し、赤字転落の危機に直面したこともありましたが、その苦境のただ中でこそ、私たちのプロフェッショナルリズムが試されました。伊澤前会長のリーダーシップのもと、理事の皆さんと一丸となって知恵を絞り、黒字化をすみやかに成し遂げただけでなく、ワクチン接種支援や自宅療養者支援などを通じて、行政や医師会との連携を飛躍的に強化できたことは大きな成果でした。この経験を通じて、薬剤師が地域の保健医療を支える職能であることを、私たち自身はもちろん区民の皆さまにも強く印象づけることができたかと確信しています。これも伊澤前会長なくしては乗り越えられなかったと重ねて感謝申し上げます。ありがとうございました。

そして今日、新たに荒古先生、田村先生、宇津先生、鹿取支店長という次世代を担う四名の理事と、経験豊かな近藤先生を監事としてお迎えできたことを大きな喜びと感じております。先生方のあらたな視点と豊富な経験や行動力は、これからの薬剤師会に新たな息吹を吹き込んでくれると期待しております。私たちは、「新しい薬剤師会」として、これまで培ってきた経験と情熱を融合させ、次世代の薬剤師を育む土壌をより豊かにしていくこそが練馬区薬剤師会のさらなる発展につながると信じています。

新しい時代を切り拓く薬剤師会の私自身のミッションとして「魅せる・かかわる・そして変わる」を胸に、任期中全力で取り組んでまいります。まず「魅せる」とは、薬剤師会という組織そのものがプロフェッショナルの矜持を体現し、区民の皆さまから揺るぎない信頼を獲得し、その健康を支える姿を内外に可視化すること意味します。そのために会員増強や会の経営基盤の強化が欠かせません。薬剤師一人ひとりが「この会に所属することが誇りでありプロフェッショナルリズム（生き方・哲学）を体現できる場所」と実感できるような事業を推進して参ります。例えば、調剤偏重からの脱却し、セルフメディケーション支援や未病予防の取り組みを仕組み化とマネタイズすることで、薬剤師としての職能拡大と区民の健康を支える新たな価値を創造し、会員増強や経営基盤の強化につなげます。

つまり目指すべき薬剤師会とは、薬剤師が矜持をもって、自身の職能価値を高め、その生き方や哲学を学び、互いに尊敬しあいながら、時には仲間であっても制限し合うことで自らを律し、国民の健康な生活に寄与することが出来る。だからこそ薬剤師会に入会することに意義があるということ、心から実感できるようにしたいと考えております。

次に「かかわる」は、能動的な意味合いとして、単独では成し得ない大きな力を生み出す、人と人との絆へのこだわりです。薬局間連携、基幹病院との薬薬連携はもちろん、行政・医師会・歯科医師会とのさらなる連携強化、地域コミュニティ（地域住民）との関係を深め、薬剤師の地域包括ケアネットワークへの“かかわり”を新たなステージに昇華させたいと考えております。能登の災害支援の現場では、薬局（薬剤師会）と地域のかかわりの強い地域は、医療体制の復旧が早かったのを目の当たりにしました。平時のかかわりあいの深さが、有事の迅速な医療提供体制の構築と、何より地域住民の命と健康を守ることに繋がったことから「かかわる」重要性を強く感じております。

またハーバード大が何世代もわたって研究しているテーマに「人の幸せとは何か？」というのがあります。現在も継続している研究の成果では「人の幸せとは、金、富、健康ではなく、関係性」だと。つまり同じ志をもつコミュニティーで頼り頼られ生きることが幸せになることと言われています。薬剤師会の仲間のうちだけ良ければいいということだけでなく、行政も医師会、他団体、多職種を含め区民との“かかわりあい”を大切に、つまり単に医療を提供する、医薬品を供給するという一方通行だけでなく、“かかわりあい”によって、双方向につながり支え合うことこそが、かかりつけの概念にも通じ、地域全体の幸せにつながる、そんな想いをもっていきます。

そして、それが薬剤師会の本来の価値であると考え、「かかわる」ことをミッションと致しました。

そして「変わる」ことこそ、私たちの未来を切り拓く鍵です。日薬、都薬、地域薬剤師会ともに会員数は減少という逆風にさらされていますが、調剤報酬上でも薬剤師会という言葉が多く表現されているというのはその真価が問われていると考えています。また会員の皆さまからも執行部との距離感あることや薬剤師会の入会の意義が感じにくい、といった声も聴いており、強い危機感をもっていますが、同時に、厳しい外部環境も含め、この状況をチャンスと捉え、既成概念にとらわれない新しい種を蒔き続け、変革の機会とすることが大切だと考えております。

今年度承認された伊澤執行部からの事業計画を基盤に、理事の皆さまとともに区民・会員の為の施策を実践し、変革の成果を着実に形にしていまいります。変化を恐れず挑戦し続けることで、地域薬剤師会の革新は、都薬、日薬への提言として、「新しい薬剤師会」を内外に示し、次世代につなぐ機会としたいと考えております。

結びに、先人たちが築き上げてくださった礎に深い敬意を払いながら、「温故知新」の精神で、「魅せる・かかわる・変わる」三つのミッションを駆動させ、「新しい薬剤師会」の創造を会員の皆さまと一緒に、そして執行部が一丸となって進めていきます。どうか皆さま、熱い想いをともにし、この船出を支えていただければ幸いです。よろしくお願い申し上げます。

会 長 輿 水 淳

会 長	輿 水 淳	(たがら薬局光が丘店)
副 会 長	小 田 真 也	(小田薬局大泉学園店)
//	會 田 一 恵	(泉ライフ薬局)
//	友 光 成 仁	(おひさま薬局)
理 事	栗 原 雄 治	(おひさま薬局中村橋店)
//	佐 谷 怜 子	(アスカ薬局)
//	大 木 隼 人	(個人会員)
//	天 野 加奈子	(たーとす薬局ねりま春日町)
//	杉 山 貴 典	(大泉薬局)
//	佐 藤 洋 子	(ひろ薬局)
//	足 立 朋 子	(薬局アポック練馬高野台店)
//	<新任> 荒 古 美恵子	(アイエス薬局)
//	<新任> 田 村 憲 胤	(たむら薬局)
//	<新任> 宇 津 航	(宇津薬局大泉町店)
//	金 内 幸 子	(練馬総合病院)
//	<新任> 鹿 取 俊 介	(株式会社スズケン)
監 事	三 浦 典 子	(薬局ここ楽関町店)
//	<新任> 近 藤 信 忠	(みとよ堂薬局)